

安全データシート(SDS)

作成日 2013年 2月25日

改定日 2015年 4月 1日

1. 製品等及び会社情報

製品名(商品名等) : ノンスリップテープL S (茶・緑・灰・黄)

会社情報

販売元 : 日東エルマテリアル株式会社

住所 : 532-0011大阪府大阪市淀川区西中島四丁目3-24
サムティ新大阪センタービル5階

担当部門 : 品質保証グループ

電話番号 : 06-6101-0771 FAX番号 : 06-6101-0775

2. 組成、成分表

単一製品・混合物の区分 : 混合物

使用部成分情報表

| 名称 | 化学式又は構造式 | 号番号(注1) | CAS番号 | 含有率(%) |
|----------|--|---------|------------|--------|
| 酸化アルミニウム | Al ₂ O ₃ | 189 | 1344-28-1 | 40~45 |
| カオリンクレー | Al ₂ Si ₂ O ₅ | | 12141-46-7 | 10~15 |
| 樹脂硬化物 | | | なし | 10~15 |
| 粘着剤 | | | なし | 10~15 |
| 基材(アルミ箔) | | | なし | 15~20 |

(注1)号番号は労働安全衛生法施工令別表第9の「名称等を通知すべき危険物及び有害物」による。

3. 危険性有害性の要約

危険性 : 危険性は極めて低い。

有害性 : 有害性は極めて低い。

環境有害 : 環境影響は極めて低い。

[GHS分類] (構成純物質について)

別表「構成純物質のGHS分類」参照

[GHSラベル要素] (構成純物質について)

別表「構成純物質のGHS分類」参照

注意書き

予防策、応急処置、保管、廃棄については、下記4~8、13の項を参照。

4. 応急処置

吸入した場合 : 固体であり、吸入することは無い。

皮膚に付着した場合 : 特に必要はないが、取り扱いの後は石鹼水等で洗い流す。

目に入った場合 : 破片が目に入ったなら直ちに清浄な流水で洗眼する。この時強く押えたり擦ったりしないこと。必要ならば医師の手当てを受ける。

飲み込んだ場合 : 多量の水を飲ませ、嘔吐させる。必要ならば医師の手当てを受ける。

5. 火災時の措置

消火剤 : 水、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス消火剤等。

消化方法 : 燃焼源を断ち、消火剤を使用して消化する。
 使ってはならない
 消火剤 : 情報なし。

6. 漏出時の措置

特になし。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い : 取扱時は、①落とさないこと、②ぶつけないこと、③転がさないこと。
 保管 : 常温・常湿の所に保管すること。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度・許容濃度

| 名称 | 化学式又は構造式 | CAS番号 | 管理濃度 | 許容濃度 TLV-TWA |
|-----------|--|------------|----------|---------------------|
| 酸化アルミニウム | Al ₂ O ₃ | 1344-28-1 | 設定されていない | 1 mg/m ³ |
| カオリンクレー | Al ₂ Si ₂ O ₅ | 12141-46-7 | 設定されていない | 設定されていない |
| 樹脂硬化物 | | なし | 設定されていない | 設定されていない |
| 粘着剤 | | なし | 設定されていない | 設定されていない |
| 基材 (アルミ箔) | | なし | 設定されていない | 設定されていない |

設備対策 : 特になし。

保護具

呼吸器の保護具 : 必要に応じて防じんマスク等を使用する。
 手の保護具 : 必要に応じて保護手袋を使用する。
 目の保護具 : 必要に応じて保護眼鏡を使用する。
 保護衣 : 必要に応じて作業着、安全靴等を使用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観 : 有色、固体
 溶解性 : 水に不溶
 沸点 : —
 融点 : —
 溶解度 : —
 引火点 : —
 発火点 : —
 爆発限界上限 : —
 下限 : —
 臭気 : —
 蒸気圧 : —
 比重 : —
 揮発性 : —
 分解点 : —
 その他 : —

10. 安定性及び反応性

安定性・反応性 : 大気中で安定

避けるべき条件 : 知見なし
有害な分解生成物 : 一酸化炭素、二酸化炭素

1 1. 有害性情報 (人についての症状、疫学的情報を含む)

構成純物質の有害情報は、別表「構成純物質のGHS分類」参照

1 2. 環境影響情報

残留性/分解性 : 知見なし
生体蓄積性 : 知見なし
土壌中の移動性 : 知見なし

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。
行政の許可を受けた産業廃棄物処理業者に内容を明確にして処理を委託する。

1 4. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報 : 非危険物
航空規制情報 : 非危険物

国内規制

陸上規制情報 : 規制なし
海上規制情報 : 非危険物
航空規制情報 : 非危険物

安全対策 : 水漏れ、梱包のケースの損傷に注意する。

1 5. 適用法令

労働安全衛生法 : 名称を通知すべき危険物及び有害物
(法第57条の2、施工令第18条の2別表第9)

化学物質排出把握管理促進法

(P R T R法) : 該当しない
毒物及び劇物取締法 : 該当しない

1 6. その他の情報

記録内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性情報等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。
また、注意事項は通常の手扱いを対象としたものであって、特殊な場合は用途用法に適した安全対策を実施してください。

構成純物質のGHS分類

| | |
|-----------|----------|
| ○印が該当する物質 | ○ |
| | 酸化アルミニウム |

物理化学的危険性

| | |
|--------------|--------|
| 火薬類 | 分類対象外 |
| 可燃性・引火性ガス | 分類対象外 |
| 可燃性・引火性エアゾール | 分類対象外 |
| 支燃性・酸化性ガス | 分類対象外 |
| 高压ガス | 分類対象外 |
| 引火性液体 | 分類対象外 |
| 可燃性固体 | 区分外 |
| 自己反応性化学品 | 分類対象外 |
| 自然発火性液体 | 分類対象外 |
| 自己発熱性固体 | 区分外 |
| 自己発熱性化学品 | 区分外 |
| 水反応可燃性化学品 | 区分外 |
| 酸化性液体 | 分類対象外 |
| 酸化性固体 | 分類対象外 |
| 有機過酸化物 | 分類対象外 |
| 金属腐食性物質 | 分類できない |

健康に対する有害性

| | |
|---------------------|-------------|
| 急性毒性 (経口) | 分類できない |
| 急性毒性 (経皮) | 分類できない |
| 急性毒性 (吸入:ガス) | 分離対象外 |
| 急性毒性 (吸入:蒸気) | 分類できない |
| 急性毒性 (吸入:粉じん) | 分類できない |
| 急性毒性 (吸入:ミスト) | 分類できない |
| 皮膚腐食性・刺激性 | 分類できない |
| 目に対する重篤な損傷・眼刺激性 | 分類できない |
| 呼吸器感受性 | 分類できない |
| 皮膚感受性 | 分類できない |
| 生殖細胞変異原性 | 分類できない |
| 発がん性 | 区分外 |
| 生殖毒性 | 分類できない |
| 特定標的臓器・全身毒性 (単回ばく露) | 区分3 (気道刺激性) |
| 特定標的臓器・全身毒性 (反復ばく露) | 区分1 (吸入:肺) |
| 吸引性呼吸器有害性 | 分類できない |

環境に対する有害性

| | |
|-----------|--------|
| 水生環境急性有害性 | 分類できない |
| 水生環境慢性有害性 | 分類できない |

ラベル要素

| | |
|---------|--|
| 絵表示 |  |
| 注意喚起語 | 危険 |
| 危険有害性情報 | 呼吸器への刺激のおそれ。 長期又は反復ばく露吸入による肺の障害。 |